

機能解説 3

5 G 時代を見据えた 同時 5 軸制御マシニングセンタ 「Mytrunnion-4 G」の特徴と運用事例

北村一峰
キタムラ機械(株)

新型コロナの影響によって世界中で人の動きが制限され、工作機械業界においても IT ビジネスを利用したリモート対応できる機能の実用化が急がれている。そんな中、当社では 2003 年に「Machining-Challenges-Simplified」をスローガンとして、アイコン制御の自社製制御装置「Arumatik-Mi」を 2008 年に販売を開始し、熟練者でなければ使いづらかった 工作機械の操作の簡易化に常に一貫して努めてきた。同時 5 軸制御マシニングセンタ (MC) の複合化や新加工技術の開発が加速されており、低コスト、短納期、高生産性など、さまざまな課題に対応できる技術が進化している。一方で、優秀な技術者や生産現場での習熟

職能者の不足が大きな課題としてクローズアップされており、これに対しては有効な対策がなされていないのが現状である。

本稿ではこの解決策の一助として、当社が開発した革新的な最新技術の一部について同時 5 軸加工機を例にとって紹介する。

革新的な最新技術

1. AI 自動運転機能

「Auto Part Producer」(特許取得済み) は G コードや M コードなどの複雑な NC 言語を知らない作業員でも、工作機械の運転をプログラム作

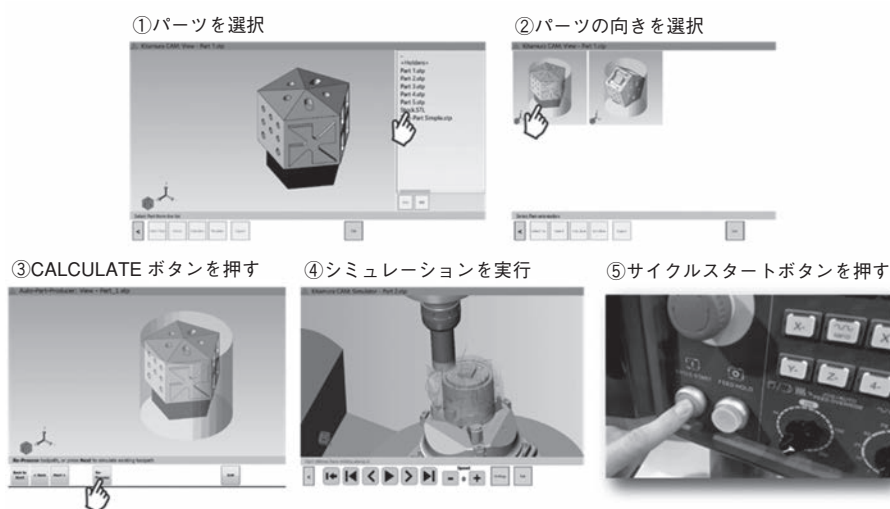


図 1 Auto Part ProducerR 操作フロー